県表具内装組合連合会・鹿児島市支部総会

九表連 大会への積極参加を

県表具内装組合連合会鹿児島市支部（桐原治喜支部長）は9日、鹿児島市のホテル満秀で第16回定期総会を開き、全表連全国大会や九表連鹿児島大会への積極参加を盛り込んだ新年度事業計画を決めた。

冒頭、物故者に対する黙とうを捧げた後、桐原支部長が「中央では景気回復の兆しが見られるものの、われわれ地方では依然厳しい状況が続いている。技術向上や人材育成など課題は多いが、いろいろな方々の協力をいただき一致団結して前進していきたい。また、今年は九表連の大会が鹿児島で開かれることから、大会が成功するよう多くの会員に協力してほしい」と挨拶した。

新年度事業計画等を決めた総会
＝鹿児島市のホテル満秀で

次いで、県表具内装組合連合会長が「県連の事業運営において中心となるのは、鹿児島市支部であると考える。今後も運営面に関し、積極的な参加協力をお願いしたい」と言葉を寄せた。

引き続き、藤田親康氏（藤田広華堂）を議長に選出し議事に移り、18年度事業経過・収支会計報告、19年度事業計画・収支予算案などを審議した結果、すべて原案通り可決承認した。

新年度事業計画は、①全表連（全国表具経師内装組合連合会）全国大会（6月、兵庫県）、九表連（九州表具文化協会）鹿児島大会（7月）への積極参加②かごしま住まいと建築展、県技能まつりへの参加③会員間の親睦会開催－など。

県タイル工業協同組合理事長に就任した

村野 繁雄 さん

かお…人

「建設投資が減少する中、タイル業界も体力的に限界にきている。職人が生きていくために何かをしなければと思う」。正面を向いて話す表情から、切実な思いがひしひしと伝わってくる。

組合員数は正・準を合わせて35社、工事受注の減少、職人の高齢化等により組合員も大幅に減少した。組合員の加入拡大は大きな柱の一つ。そして、低迷するタイルの需要増大には仕掛けが必要であろう。「官公庁には技能士の現場常駐制度も活用しながら、われわれが技術を発揮できる工事発注をお願いしたい。民需はメーカー、取次店、組合員が協力し合い、市場を開拓していく努力が必要ではないか」と意気込む。

後継者の育成も待ったなしだ。鹿児島高等技術専門校への訓練生確保をはじめ、ジュニア・マイスター教室や住まいと建築展、技能まつりでは技能の醸成を図る。「森山、小玉前理事長の指導を仰ぎながら、組合員一同が一枚岩となり青壮年部とも和合し、組合に新しい風が吹くよう魅力ある組合にしていきたい」と決意を語る。

昭和16年鹿児島市生まれ。初代理事長でもある父・繁氏に弟子入りしたのが27歳。がむしゃらに37年働いてきて、くしくも社は今年で法人化50周年を迎える。好きな言葉に何事にもくじけない「力」と「技術」を挙げた。

社名にもあるレンガで一昨年、鹿児島市のふれあいスポーツランドにアーチ橋を造ったのが印象深かったとか。趣味は釣りとゴルフ。鹿児島市新屋敷町に民子夫人と2人暮らし。息子の国範氏、賢次郎氏も家業を手伝う。

職人が生き残る業界に

㈲村野レンガ・タイル工務店社長。65歳。（石神寛・報道編集部主幹）

県道塚脇財部線六村地区の完成式

住民らと開通祝う

県道塚脇財部線六村地区の完成式が7日、霧島市福山町の現地で地域住民ら約40人が出席して、完成を祝った。

完成式では、初めに地元協議会の藤山建設委員長が「六村地区は福山の中で整備が取り残された区間であった。完成は地元住民の長年の悲願であり、地域活性化へつながり本当にうれしい」、中村孝県加治木土木事務所長が「厳しい財政状況のなかではあるが、地域の方々のご協力もあったからこそ苦情もなく無事整備できることができた」とそれぞれ挨拶した。

霧島市福山町の現地で

延長16・5㎞（うち霧島市内L4・34㎞）×幅員8m。13年度から整備に着手、今回の六村地区延長760mの完成により、同路線の霧島市内の整備が完了したことになる。

このあと、参加者全員で通り初めを行い、完成を祝った。なお、施工は、福山土木、日伸建設、今村建設が担当した。

同線は、急カーブの解消等を目的に霧島市国分塚脇地区から曽於市財部町南俣地区までの総

県体育施設業協会「げんキッズ活動」

遊具整備 園児らに喜ばれる

県体育施設業協会（米盛庄一郎会長）は9日、鹿児島市内の2つの保育園で遊具の安全点検や樹木剪定などを行うボランティア活動「げんキッズ活動」を実施。会員26社35人が参加して、約半日をかけて懸命な作業に取り組んだ。

同日は、作業を前に米盛会長が「昨年度から始まった取り組みで、今年で2回目になります。建設業をアピールする意味でもしっかりと頑張りましょう。また、事故などには十分に気をつけてください」と挨拶した。続いて、注意事項を確認した後、活動場所の城南保育園と東谷山保育園へ出発。

懸命に作業する会員＝鹿児島市の城南保育園で

このうち城南保育園では、遊具下に人工芝等の敷設、滑り台降り口や鉄棒接地面に安全マットを設置した。このほか、樹木剪定や鳥小屋補修なども行った。

同活動は、遊具の安全点検・補修、抗菌砂の補充、安全マットの敷設のほか、保育士へ遊具の点検指導、園児を対象に遊具の安全な遊び方など指導している。

作業終了後、松永久子城南保育園長は「それぞれ専門の方々の力で、園内の施設が安全に整備され感謝しています。園児も大変喜んでいると思います」と話した。

民族文化映像研究所

23日、東京で

民族文化映像研究所では、紀伊國屋書店とポルケの共催で23日午後6時30分から、東京の紀伊國屋サザンシアターで映像民俗シリーズ・第6期「日本の姿」～奄美・南のしまの祈りと行事～（DVD版全5巻）の刊行記念上映および対談を開催する。

同シリーズは既に第5期（1～20巻）まで刊行＝写真＝。今回（21～25巻）は、1970年代後半から80年代前半にかけて奄美の島々で行われた記録映像に、最新の奄美再訪映像が織り交ぜられている。その間に流れた30年の歳月－。今も健在があり、今は見えない姿がある。それらを通じて南の島・奄美が育み伝えてきた深い人間文化の基層の質が浮かび上がってくる。

▽前売 キノチケットカウンター（紀伊國屋書店新宿本店）、紀伊國屋サザンシアター

▽電話予約 紀伊國屋サザンシアター（☎03・5361・3321）

▽当日の問い合わせ 紀伊國屋映像情報部（☎03・5469・5917）木村氏まで。

▽DVD購入に関する問い合わせは、民族文化映像研究所（☎04・986・6461）または、紀伊國屋書店映像情報部（☎03・5469・5917）まで。